

平成 29 年度
学まちコラボ事業

ORIGAMI 科学で文化発信 ～折り紙の文科融合～

活動場所：伏見区、北区

活動時期：平成 24 年 4 月～

発表団体

京都教育大学
これからの算数・数学教育を考える会



連携メンバー

京都教育大学
京都教育大学附属学校（小・中・高等学校）
京都市内の学校教員方

活動内容

日本ないし京都発祥の折り紙文化を若い世代に教えることは、日本人の持つ遊び心、器用さ、創造性や文化的要素を後世へ伝承する意味で重要である。

本事業では、大学生が地域子どもたちに折り紙の文化と科学の魅力を紹介するとともに、映像化した折り紙の折り方を京都教育大学 YouTube サイトで公開し、文化都市京都の魅力を全世界に向けて発信する。

取組の一つ目は、京都市内の小・中・高等生（約 60 名）を対象に、「ORIGAMI 科学」教室の公開講座を、それぞれ 2 回ずつ計 6 回開催する。二つ目は、代表的な折り紙作品 10 点（折り鶴、やっこ、かぶとなど）について、折り方の映像教材を制作し、本学のサイトにアップロードする。

附属学校の中学・高校の教員の方とは、主に公開講座で扱う折り紙算数・数学教材の共同開発を行っており、最近では、折り紙動画コンテンツのチェックも行っていた。

市域へ活動については、11 月に京都府立洛北高校で、折り紙出張講座を実施する。

取組の成果・活動で工夫した点

7・8 月に小学生を対象とした第 1・2 回「ORIGAMI 科学」教室の公開講座を、小学生と保護者を合わせた計 22 名に実施した。折り紙の文化と算数の双方の魅力を伝えるために、京都の和紙・千代紙を用いたやっこ、いす、ダイヤカット缶を制作し、その展開図の中から図形を見つける取組を行った。

工夫した点は、折り紙の歴史や文化を体験してもらうために、折り紙の文化を紹介する小冊子の配布や、伝統的な折り紙作品や遊戯折り紙と折り紙科学の図書を展示した。

講座後に実施したアンケートでは、講座全体の満足度が高いことに加えて、折り紙を算数で考えることの楽しさを評価する記述が小学生・保護者ともに確認された。

連携メンバー・役割

京都教育大学	活動場所の提供、活動備品の管理、本団体所属 HP の管理、イベントの案内
京都教育大学附属学校（小・中・高等学校）	折り紙算数・数学教材の共同開発、イベントの案内
京都市内の学校教員方	折り紙算数・数学教材の共同開発、イベントの案内

今後の課題・目標

◆今後の課題

現在の広報活動としては、「本学の公式 HP」と「各区役所・支所まちづくり推進担当」、大学コンソーシアム京都の Facebook でチラシ宣伝を行い、公開講座の案内・募集を行っている。

しかし、公開講座の参加者が集まらず、講座の開設が困難な状況にある。

公立の学校に直接チラシを配布することを検討したが、配布は厳しいとのことご回答をいただいている。

今後も、後 1・2 回は出張講座を実施したいと考えているが、参加者の呼びかけ方法に困っている。

◆目標

地域子ども達（小学生～高校生）や保護者を対象に、折り紙出張講座を行う。

京都の和紙や京千代紙の魅力を紹介する動画コンテンツを制作し、本学が作成した日本の伝統と文化を動画で紹介する HP「GAKUMACHI.KYOTO」にアップロードする。（現在、京都の老舗和紙専門店に取材交渉中）

折り紙の文化と科学の融合が、子どもたちどのような影響を与えたのかを分析し、その結果をまとめる。



関連 WEB サイト : http://math.kyokyo-u.ac.jp/math_kyokyo/news.html